

まちづくり交付金 事後評価シート
足寄駅前地区

平成21年12月

北海道足寄町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道	市町村名	足寄町	地区名	足寄駅前		面積	25.1ha
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	719	国費率	0.399	

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名					
	基幹事業	道路(北1条通、北2条通、北3条通、ふれあい通)、地域生活基盤施設(子どもセンターガーデンアイランド)、高質空間形成施設(植栽、交差点バリアフリー化、照明施設)						
	提案事業	地域創造支援事業(宅地造成事業、子どもセンター基盤整備事業)						
			事業名	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設(植栽) 高質空間形成施設(照明施設:北3丁目通)	植栽:足寄町ロータリークラブより、寄附木(桜:40本)の申し込みがあり、植樹も当該クラブの会員で行った。民間による植樹(関連事業)としたため取りやめ 照明:道路管理者において、防犯灯を設置したため、街路灯設置を取りやめ		影響なし		
	新たに追加した事業	基幹事業	なし					
	提案事業	なし						
	基幹事業	なし						
	提案事業	なし						
交付期間の変更	当初	平成17年度～21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					
	変更	なし						

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
指標1	まちなか定住人口	人	1,066	H16	1,200	H21	1,064	1,070	△	あり なし ●	公営住宅建設や土地区画整理事業に伴う宅地化等により人口流入があった一方、自然減などの要因により目標値は達成できなかった。しかし、町の全体人口が減少している中、当該地区においては従前値を維持していることや北3条においては従前値から約150名の人口が増加している。	H22年4月末頃
指標2	土地の有効利用率	%	78	H16	90	H21	88	89	○	あり なし	低未利用地であった旧貯木場跡地の有効活用(子どもセンター、公営住宅)や土地区画整理事業に伴う宅地化等により住宅が建設され、土地の有効利用率が向上した。	H22年4月末頃
指標3	道路環境の満足度	%	0	H16	60	H21	—	77	○	あり なし	未整備箇所の道路新設や既設橋梁への歩道設置により、交通安全性の向上や公共施設及び中心商業地へのアクセス強化、歩行者の快適性により、道路環境に対する満足度が向上した。	なし
指標4	植樹参加数	人	95	H16	130	H19	131	131	○	あり なし	例年、「足寄町緑のまちづくり協議会」が中心となり、植樹事業を実施し目標値は達成されている。また、地域生活基盤施設事業により、保育園児によるサクラランポの植栽や民間による植樹等も実施されている。	なし
指標5										あり なし		

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1										
	その他の数値指標2										
	その他の数値指標3										

4)定性的な効果発現状況
低未利用地であった旧貯木場跡地が公共用地として活用されたことにより、北地区との一体的なまちが実現できた

	実施内容	実施状況	今後の対応方針等
5)実施過程の評価	モニタリング	足寄町中心市街地活性化協議会のまち並み景観部会において、事業の進捗状況等について点検を実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった
	住民参加プロセス	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった
	持続的なまちづくり体制の構築	足寄町中心市街地活性化推進協議会のまち並み景観部会が中心となり部会及びワークショップ等を開催し、関係住民との調整を実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった

様式2-2 地区の概要

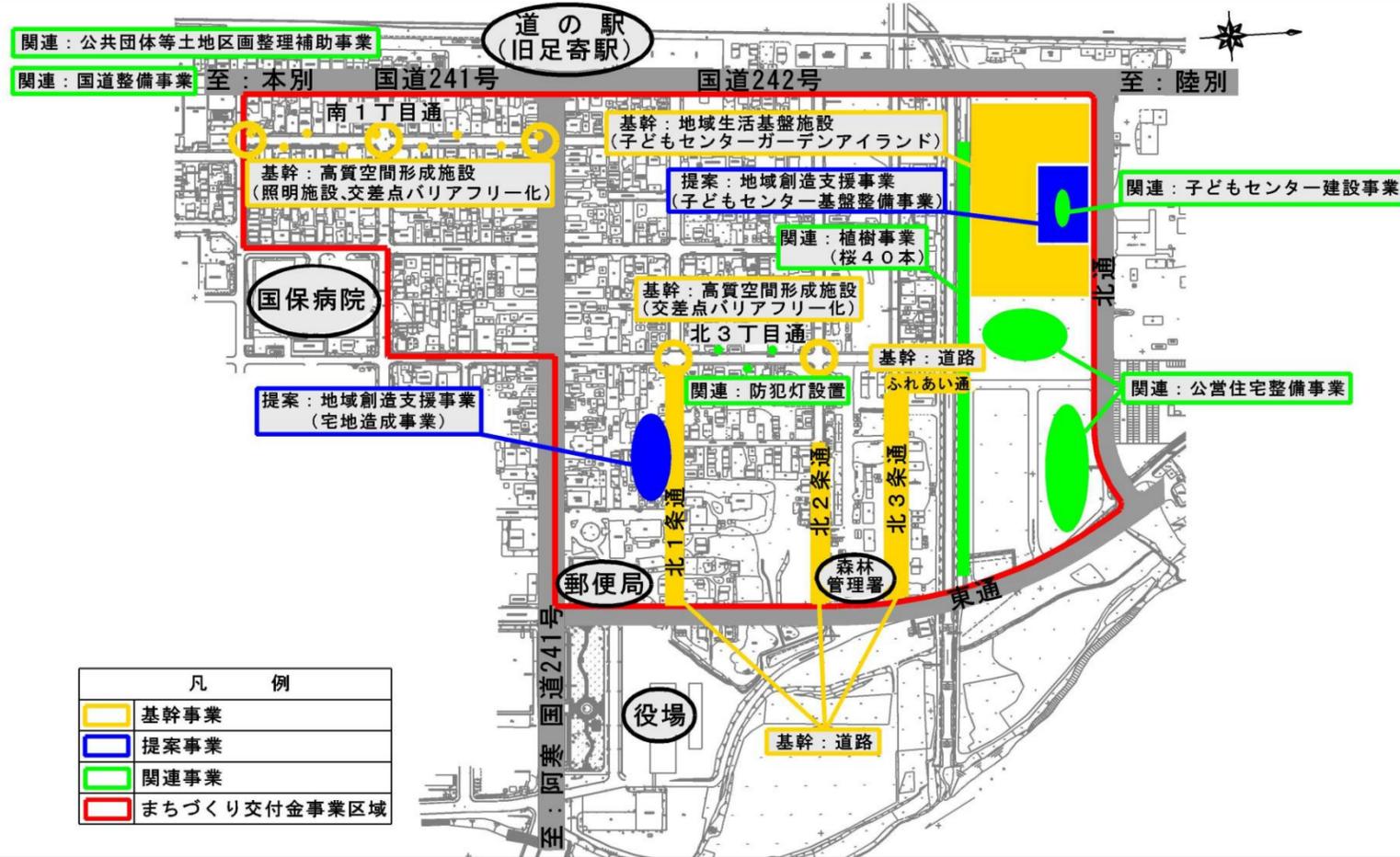
足寄駅前地区(北海道足寄町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	値	年度	値	年度	値	年度
大目標 大自然に囲まれた緑豊かな北国の高原都市の創出 目標1 市街地内の低未利用地の解消を図り、緑に囲まれた居住空間の創出を図る。 目標2 道路の整備改善により、中心商業地区への交通アクセス、交通安全性、歩行者の快適性の向上を図る。 目標3 住民の主体的なまちづくりと街なかで老人、子どもが交流できる場を実現する。	まちなか定住人口	単位:人	1,066	H16	1,200	H21	1,070	H21
	土地の有効利用率	単位:%	78	H16	90	H21	89	H21
	道路環境の満足度	単位:%	0	H16	60	H21	77	H21
	植樹参加数	単位:人	95	H16	130	H19	131	H21

【 交差点バリアフリー化 】



【 道路 】



【 子どもセンター 】



【 公営住宅 】



まちの課題の変化

- ・ 低未利用地であった旧貯木場跡地の有効活用(子どもセンター、公営住宅)や土地区画整理事業による宅地化により住宅の建設等も進み低未利用地の解消が図られた。
- ・ 未整備箇所道路新設等により、交通安全性の向上や中心市街地へのアクセスも進められた。
- ・ 足寄町中心市街地活性化推進協議会を中心として、官民協働のまちづくりが進められた。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・ 低未利用地の有効活用や定住促進の具体的な施策の検討に努める。
- ・ 道路、公園、下水道の計画的な整備を実施し、整備水準の向上に努める。
- ・ 商業者だけでなく、農林業や地域の代表等の幅広いメンバーでまちづくりの推進に努める。
- ・ 基盤整備によるハード面だけでなく、足寄銀河ホール21(道の駅)等を活用したソフト面での施策の検討に努める。
- ・ 中心市街地においては、居住人口の減少や少子高齢化に伴うコミュニティが衰退し、賑わいの喪失(空き店舗、空地)が課題となっており機能回復に努める。
- ・ 足寄町と九州大学(農学部附属演習林北海道演習林)が協力し、森林及び地域に関する分野における発展に向けて、林業の振興や地域交流など連携した取組みに努める。
- ・ 中心市街地の周辺部(特に旧貯木場跡地北側)の土地利用等について検討する。
- ・ まちづくり交付金事業で整備された環境を今後も高めるような計画(河川の親水化等)について検討する。